

中津市

R7.1.1 住民基本台帳人口：総人口…81,524人 男…39,980人 女…41,544人 世帯数…41,353世帯
R7.1.1 総面積…491.44km² 公共施設数（令和5年度）：小学校…21校 中学校…10校
出典：令和7年度版 大分県市町村ハンドブック



奥塚 正典 市長

一万円札の顔として長年親しまれてきた福澤諭吉先生の故郷である中津市は、大分県と福岡県の県境に位置する、古くから「ものづくり」の産業が盛んなまちです。「暮らし満足No.1のまち」を目指し、人や企業を惹きつける魅力・磁力を高める取組に力を入れています。さらに、教育者である福澤先生の故郷として、「学び」によるまちづくりも進めているところです。ぜひ「福澤諭吉の故郷中津市」へのご支援をお願いいたします。



寄付御礼

- ・贈呈式開催（首長出席、寄附額100万円以上）
- ・感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他（プレスリリース（寄付額50万円以上））

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー3 地域活性化

公共施設等を活用して地域を元気に！

現在の中津市は、平成17年に5つの市町村が合併して誕生しました。旧市町村ごとに様々な施設が整備されていますが、人口の減少に伴って利用頻度が低くなっている施設や、利用されていないスペースがあります。このような施設やスペースを民間事業者などとも連携して有効活用し、地域の元気づくりにつなげたいと考えています。



複合文化施設「コアやまくに」



カテゴリー1 産業振興・企業誘致

若者が働きたい、選ばれるまちに！

中津市は、自動車関連産業を中心として製造業が集積する「ものづくり」のまちです。近年は港湾や道路などの整備が進み、物流ネットワークの拠点性が顕在化するとともに、情報通信関連やオフィス事務業など様々な産業の立地も進んでいます。今後、さらに多様な産業の誘致を進め、若者に選ばれるまちを目指します。



第3期中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略

暮らし満足No.1のまち中津

基本目標

1

「安心づくり～誰もが生き生きと安心して暮らせるまち～」

こどもを生き育てやすい切れ目・すき間のない支援、若者の多様なライフコースの実現の後押し、医療介護の連携や健康づくり、多文化共生の推進など、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

基本目標

2

「元気づくり～モノや人が行き交う元気のあるまち～」

地場企業の育成・人材確保や起業・創業の支援、若者や女性が働きたい企業の誘致、持続可能な農林水産業の実現などの産業振興と、観光や移住促進による交流・関係人口の拡大に取り組みます。

基本目標

3

「未来づくり～新しい時代にこどもや若者の未来を開くまち～」

歴史文化が豊かなまちとして、幅広い世代、あらゆる分野での「学び」を通じて、地域に誇りを持ち活躍できる人材を育成します。「環境共生都市なかつ」の実現、持続可能な公共交通の実現を図ります。



～暮らしの中にもっと学びを～ 学びの里なかつ推進プロジェクト

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 325,922千円 寄附目標額 10,000千円

数値目標 ●地域幸福度(Well-Being 指標)における幸福度…7.0
●歴史・文化施設等の年間利用者数…13万人

福澤諭吉をはじめとした多くの先哲、偉人を輩出してきた中津市は、深い歴史文化の中で培われた「学び」の土壌が豊かなまちです。「学び」は個人の成長だけでなく、地域社会の発展にも不可欠な要素といえます。このため、市民講座やセミナーなどを通じて、地域の歴史文化や自然環境、産業などの特徴、さらには現代の新たな技術や情報等について、市民が学ぶことができる機会を多く提供していきます。幅広い世代、様々な分野で学びの機会を創出することにより、ひととまちがともに発展する中津市を目指します。



寄附の
具体的な
メリット

- ・ 学びによる人材育成やシビックプライドの醸成は、企業イメージ向上への貢献が期待できます。
- 100万円以上 市長表彰、感謝状贈呈式(市長との対談)
- 50万円以上 市から報道機関へプレスリリース
- 30万円以上 公共施設やHPにて企業パンフレットなどを紹介(寄付日より1年間)
- 10万円以上 市HPへの掲載、お礼状の送付

寄附申出書の事業名選択時は「学びの里なかつ推進プロジェクト」を選択してください。



おかえりなさい奨学金返還支援 プロジェクト

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 4,000千円 寄附目標額 4,000千円

数値目標 ●若年人口回復率…100%以上
●奨学金返還支援者数…5年間累計200人

現在、大学生の2人に1人は奨学金制度を利用しており、大学卒業後の若年層にとって奨学金の返還が経済的負担になっている現状があります。中津市では、このような若者の経済的負担を軽減し若者の希望実現を後押しするため、奨学金返還支援制度を新たにスタートします。卒業後、Uターンして中津市内に就業した方で奨学金を返還している方について、年間10万円(最長5年間、最大50万円)の支援を行います。



寄附の
具体的な
メリット

- ・ Uターンする若者が増えることで地場産業の活性化、人材確保につながります。
- 100万円以上 市長表彰、感謝状贈呈式(市長との対談)
- 50万円以上 市から報道機関へプレスリリース
- 30万円以上 公共施設やHPにて企業パンフレットなどを紹介(寄付日より1年間)
- 10万円以上 市HPへの掲載、お礼状の送付

寄附申出書の事業名選択時は「元気づくり事業～モノや人が行き交う元気のあるまち～」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの大分銀行までお問い合わせください。